

# 令和3年度版『現代の国語』年間学習指導計画例

## ■2年

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
4	1 豊かに想像する	<b>名づけられた葉</b> <b>【読む(詩)】</b> 2時間 ●詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。(Cエ) ●詩にこめられたものの見方を捉える。(Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。 ・繰り返し使われている言葉と、リズムを意識しながら音読する。 ・本文中のたとえについて、内容を捉える。 2 2 詩にこめられたものの見方を捉える。 ・それぞれの連に描かれていることをまとめ、それらの関係を考える。 ・詩のメッセージを捉え、考えたことを書く。 ・書いたことをもとに、考えを伝え合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。(Cエ) ②「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)</u> <b>主</b> ・進んで自分の考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	詩歌を読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)
		<b>セミロングホームルーム</b> <b>【読む(小説)】</b> <b>読み方を学ぼう①</b> <b>人物設定</b> 4時間 ●人物の設定の仕方を捉え、表現や構成の工夫とその効果について考える。(Cア, Cエ) ●作品を読んで考えたことを共有し、自分の考えを広げたり深めたりする。(Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 作品を読んで感じたことを共有する。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・読んで感じたことを本文の表現と結びつけながら発表する。 2 2 人物の設定の仕方を捉える。 ・登場人物を書き出し、人物どうしの関係や言動を整理する。 → <b>読み方を学ぼう①</b> 人物設定 → <b>読書の広場「むさぼり」</b> ■二次元コード■ 3 3 人物の言動の意味や役割について考える。 ・最後の場面のトリノの心情について考えを発表し合う。 ・この話の「主人公」は誰だと考えるか、理由とあわせて話し合う。 4 4 表現や構成の工夫とその効果について考えを深める。 ・表現や構成の工夫とその効果について考え、文章にまとめる。 ・考えたことを共有し合って深める。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。(Cア)</u> ②「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。(Cエ) ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) <b>主</b> ・進んで登場人物の設定の仕方などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
5		<b>言葉発見①</b> <b>敬語の意味と種類</b> 1時間 ●敬語のはたらきについて理解し、使う。(知・技(1)カ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「丁寧語」「尊敬語」「謙譲語」の違いを理解する。 2 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ①言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。((1)ア) ②話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。((1)イ) ③敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。((1)カ)	-
		<b>グループディスカッション</b> <b>互いの考えを尊重しながら話し合いを深める</b> <b>【話す・聞く】</b> 4時間 ●互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解し、活用する。(Aオ) ●相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる。(Aエ)	1	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解する。 ・話し合い記録から、「話し合いのこつ」を見つける。 ・「話し合いのこつ」のはたらきや効果について考える。	<b>知・技</b> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> ①「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(Aエ) ②「話すこと・聞くこと」において、 <u>互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(Aオ)</u>	それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする。(Aイ)
			2	2 話し合いを深めるための方法を、グループディスカッションで活用する。 ・「話し合いのこつ」を活用して、グループディスカッションを行う。 ・効果的な発言とその効果を、発言メモにまとめる。	<b>主</b> ・積極的に互いの立場や考えを尊重しながら、学習の見通しをもって議論や討論をしようとしている。	
			3-4	3 相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる。 ・発言メモをもとに、グループディスカッションを振り返る。 ・特に効果的だった発言や、「話し合いのこつ」について交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		
		<b>漢字を身につけよう①</b> 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「二年生で学ぶ漢字字典」	<b>知・技</b> ①第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
6	2 わかりやすく伝える	<b>読み方を学ぼう②</b> <b>発展的な論の展開</b> じゃんけんは、なぜゲー・チョコキ・パーの三種類なのか <b>【読む(説明)】</b> 1時間 ●文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。(Cエ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 ・「本論」の「条件の提示」「段階的な問い」「問題点とその解説」を確かめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	(※「人間は他の星に住むことができるのか」と合わせて評価する。)	-
		<b>人間は他の星に住むことができるのか</b> <b>【読む(説明)】</b> 4時間 ●主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。(Cア) ●文章を読み、構成や論理の展開とその効果について考える。(Cエ)	1-2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・他の星に移り住むための重要な条件を本文から書き抜く。 ・四つの天体についての筆者の判断とその根拠を表に整理する。 3 2 文章の構成や論理の展開、その効果について考える。 ・筆者の論の進め方の効果について考える。 → <b>読み方を学ぼう② 発展的な論の展開</b> ・筆者の表現の工夫とその効果について考える。 4 3 筆者の考えを捉え、話し合っって自分の考えを深める。 ・問いに対する筆者の答えについて、自分の考えをまとめる。 ・考えたことをグループで話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> <b>①「読むこと」</b> において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(Cア) <b>②「読むこと」</b> において、 <u>観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ)</u> <b>主</b> ・進んで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。	報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明する。(Cア)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>手紙・メール</b> <b>心をこめてわかりやすく書く</b> <b>【書く】</b> 4時間 ●相手に伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式をふまえて書く。(Bイ) ●内容が正しくわかりやすく伝わるように、読み手の立場に立って読み返し、文章を整える。(Bエ)	1	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見直しをもつ。 1 伝える相手を決め、伝えたい事柄や気持ちを明確にする。 ・誰に伝えるかを決める。 ・相手に伝えたい情報や気持ちを決める。 ・手紙で伝えるか、メールで伝えるかを決める。 2 手紙の形式をふまえて下書きをする。 ・「手紙の例」や「メールの例」を参考にして、形式(作法)を確認する。 ・言葉遣いに注意して、心をこめてわかりやすく書く。 3 読み手の立場に立って読み返し、推敲して文章を整える。 ・読み手の立場に立って読み返し、構成や表現、表記などを確認する。 →資料編「原稿用紙の使い方・推敲の仕方」 ・グループで読み合い、アドバイスを交換する。 4 丁寧に清書し、確認して投函(送信)する。 ・丁寧に心をこめて清書する。 ・不備がないか確認し、投函(送信)する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使おうとしている。((1)カ) <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ) ②「書くこと」において、 <u>読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。</u> (Bエ) <b>主</b> ・粘り強く表現の効果などを確かめ、学習の見直しをもって伝えたいことを相手や媒体を考慮して書こうとしている。	社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く。(Bイ)
		<b>言葉発見②</b> <b>言葉のはたらきとコミュニケーション</b> 1時間 ●言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づく。(知・技(1)ア)	1	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 相手に何かをはたらきかけるときの表現の仕方や配慮の示し方について考える。 2 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ① <u>言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。</u> ((1)ア) ②話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。((1)イ) <b>主</b> ・進んで言葉のもつ相手の行動を促すはたらきについて気づき、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>漢字を身につけよう②</b> 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「二年生で学ぶ漢字字典」	<b>知・技</b> ① <u>第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u> ((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
7	3 ものの見方・感性を養う	<b>短歌の世界／短歌十首</b> <b>【読む(解説/短歌)】</b> <b>読み方を学ぼう③ 想像</b>  <b>コラム</b> <b>音の数え方と句切れ</b> 3時間 ●短歌のリズムや表現方法などの特徴をもとに、短歌についての理解を深める。(Cエ) ●情景や心情を表す語句に注意して、短歌を読み味わう。(Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 短歌のリズムや表現方法などの特徴を捉える。 ・「短歌の世界」を通読して、内容を捉える。 ・短歌の特徴を書き出す。 ・「短歌の世界」の二首の短歌を音読する。	<b>知・技</b> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ) ②「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</u> (Cオ) <b>主</b> ・進んで知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。	詩歌を読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)
		2	2 情景や心情を表す語句に注意して、短歌についての理解を深める。 → <b>読み方を学ぼう③ 想像</b> → <b>読書の広場「那須与一」</b> ■二次元コード■ ・「短歌十首」について、意味の切れめや調子に注意しながら音読する。 ・「短歌十首」の中から印象に残った短歌を選び、情景や心情をまとめる。			
		<b>短歌・俳句</b> <b>表現の仕方を工夫して豊かに表す</b> <b>【書く】</b> 5時間 ●情景や感動が伝わるように、表現を工夫して書く。(Bウ) ●作品を読み合い、表現の工夫などについて意見を交流する。(Bオ)	1-2	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 題材を選び、短い文章を書いて言葉を取り出す。 ・心に残っていることや、気づいたことなどについて、短い文章を書く。 ・短い文章から、短歌にしたい言葉を取り出す。	<b>知・技</b> ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(Bウ) ②「書くこと」において、 <u>表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</u> (Bオ) <b>主</b> ・粘り強く文章のよい点や改善点を見だし、学習の見通しをもって短歌や俳句を創作しようとしている。	短歌や俳句を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(Bウ)
3	2 情景や感動が伝わるように、表現を工夫する。 ・取り出した言葉をもとに五音・七音の言葉にする。 ・言葉を組み合わせ、五七五七七の形にする。 ・順序を入れ替えたり、別の言葉に替えたり、比喩を用いたりする。					
			4	3 短歌とはじめの短い文章とを比べ、推敲する。 ・短歌とはじめに書いた短い文章とを読み比べる。 ・納得できる表現になるまで推敲する。		
			5	4 作品を読み合い、表現の工夫などについて意見を交流する。 ・発表会や合評会を開いて交流する。 ・短い感想を書き、作者に伝える。 ・それぞれが作った短歌のよいところを見つけ、自分の表現に生かす。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>文法の窓 1</b> <b>文法のまとめ</b> <b>用言の活用</b> 3 時間 ●用言の活用について理解する。(知・技(1)オ)	1-3	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 「文法の窓 1」で動詞、形容詞、形容動詞が後ろにつく語によってどのように形を変えるか考える。 2 「文法のまとめ」「1 用言の活用」で、用言の活用について理解する。 3 「確認しよう1」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・ <u>単語の活用について理解している。</u> ((1)オ) <b>主</b> ・進んで単語の活用について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>壁に残された伝言</b> <b>【読む(報告)】</b> 3 時間 ●文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。(Cア) ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。(Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。 ・本文を通読して、内容を捉える。 ・「伝言」が「発見された経緯」について整理する。 ・「伝言」が「白黒逆転して現れた事情」について整理する。 2 2 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつける。 ・伝言が、二十世紀の終わりに出てきたことの意味について考える。 ・関係者たちが、「ああそうだったのか」とつぶやいた理由について、交流する。 3 3 筆者の思いをもとに、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・「伝言」についての筆者の見方や思いを比較する。 ・最後の一文にこめられた筆者の思いについて話し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>思・判・表</b> <b>①「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。</b> (Cア) <b>②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</b> (Cオ) <b>主</b> ・進んで知識や経験と結びつけ、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。	報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明する。(Cア)
		<b>私の読書体験</b> <b>生涯の友と出会う</b> <b>【読む】</b> 2 時間 ●本には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、読書をとおして自分の考えを広げたり深めたりする。(知・技(3)エ、Cオ)	1-2	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 教材文を読み、感想を交流する。 ・本文を通読して、内容を捉える。 ・感じたことや考えたことを交流する。 2 本を選んで読み、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・学校図書館などで、本を選んで読む。 → <b>読書の広場「小さな図書館」</b> ・互いに本を紹介したり感想を伝え合ったりする。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ) <b>思・判・表</b> ・ <u>「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</u> (Cオ) <b>主</b> ・進んで自分の考えを広げたり深めたりし、学習したことを生かして本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用しようとしている。	本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする。(Cウ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>漢字を身につけよう③</b> 1 時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「二年生で学ぶ漢字字典」	<b>知・技</b> <b>①第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ)</b> <b>②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</b> <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
9	4 論理的に考える	<b>一〇〇年後の水を守る【読む(評論)】</b> <b>読み方を学ぼう④</b> <b>図表と文章</b> 4 時間 ●文章と図表などを結びつけて、筆者の考えを捉える。(Cウ) ●文章を読んで理解したことで、知識や経験とを結びつけて、自分の考えを広げる。(Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本文を読んで内容を捉える。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・「深刻な水不足」の理由について、本文から必要な情報を抜き出してまとめる。 ・「水の循環になるべく負担をかけない水の使い方」についてまとめる。	<b>知・技</b> ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) <b>思・判・表</b> <b>①「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。(Cウ)</b> <b>②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)</b> <b>主</b> ・進んで文章と図表などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを文章にまとめようとしている。	報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめる。(Cア)
		<b>言葉発見③</b> <b>上位語・下位語</b> 1 時間 ●上位語・下位語の関係について理解を深める。(知・技(1)エ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 上位語・下位語の関係について理解を深める。 2 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・ <b>抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</b> <b>主</b> ・進んで抽象的な概念を表す語句の量を増し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<p><b>プレゼンテーション資料や機器を活用して効果的に発表する</b> 【話す・聞く】 5 時間</p> <p>●社会生活の中から題材を探し、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。(Aア, AI)</p> <p>●話し手の意図や話の内容をわかりやすく伝えるために、資料や機器を効果的に活用して表現を工夫する。(Aウ)</p>	1	<p>◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見直しをもつ。</p> <p>1 社会生活の中から題材を決め、内容を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手と目的を決める。</li> <li>・身のまわりのできごとや社会生活の中からテーマを探す。</li> <li>・アイデアを出し合っ、内容を考える。</li> </ul>	<p><b>知・技</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</li> </ul> <p><b>思・判・表</b></p> <p>①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決めている。(Aア)</p> <p>②「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(AI)</p> <p>③「話すこと・聞くこと」において、<u>資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝えるように表現を工夫している。</u>(Aウ)</p> <p><b>主</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に資料や機器を用い、学習の見直しをもって説明や提案をしようとしている。</li> </ul>	<p>説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。(Aア)</p>
		<p><b>漢字を身につけよう④</b> 1 時間</p> <p>●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)</p>	1	<p>1 中学校で学習する漢字を読む。</p> <p>2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「二年生で学ぶ漢字字典」</p>	<p><b>知・技</b></p> <p>①<u>第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u>((1)ウ)</p> <p>②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</p> <p><b>主</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</li> </ul>	-



月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
10	5 古典に学ぶ	枕草子・徒然草 【読む(古文)】 4時間 ●自然や人間に対する、筆者のものの見方や感じ方を捉える。(Cエ) ●古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。(Cオ)	1 2 3 4	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本文を通読し、内容を捉える。 ・意味の切れめに注意して音読し、内容を捉える。 2 「枕草子」について、筆者のものの見方や感じ方を捉える。 ・筆者が「をかし」と評価しているものについて捉える。 ・筆者が「うつくし」と指摘しているものを捉え、自分の感じ方と比べる。 3 「徒然草」について、筆者のものの見方や感じ方を捉える。 ・筆者の「先達はあらまほしきことなり。」の言葉について考える。 ・「この戒め」が指す内容について説明する。 4 古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。 ・清少納言と兼好法師の見方や感じ方について、考えたことを文章にまとめる。 ・書いたことをもとに、考えを共有し合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 (学びを広げる) ・他の章段を読んで好きな章段を選び、紹介し合う。 →■二次元コード■	知・技 ①作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3ア) ②現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3イ) 思・判・表 ①「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ) ②「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</u> (Cオ) 主 ・進んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	詩歌や小説などを読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)
		表現プラザ 私の「枕草子」「徒然草」 【書く】 2時間 ●日常生活や社会生活の中から題材を決めて、伝えたいことを明確にする。(Bア) ●読み手の立場に立って、表現の効果を考えながら文章を整える。(Bエ)	1 2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 日常生活や社会生活の中から題材を決めて、伝えたいことを明確にする。 ・例を参考にして、身のまわりの物事から題材を決める。 ・伝えたいことを明確にして、文章を書く。 2 読み手の立場に立って、表現の効果を考えながら文章を整える。 ・読み手の立場に立ち、工夫して文章を整える。 ・書いた文章をグループで読み合い、感想を交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1エ) 思・判・表 ①「書くこと」において、 <u>目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。</u> (Bア) ②「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(Bエ) 主 ・粘り強く伝えたいことが明確になるように工夫し、学習の見通しをもって感じたことを書こうとしている。	物語を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(Bウ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>平家物語</b> <b>【読む(古文)】</b>  <b>読み方を学ぼう⑤</b> <b>物語の転換点</b>  <b>コラム あの人の歌</b> 5時間  ●語句の意味に注意しながら音読し、古典のリズムを味わう。(知・技(3)ア) ●場面や状況を捉え、登場人物の考え方について、自分の考えをもつ。(Cイ, Cエ, Cオ)	1-2 3-4 5	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 語句の意味に注意しながら音読し、古典のリズムを味わう。 ・冒頭部分を音読する。 ・「敦盛の最期」の背景を確認する。 ・登場人物の特徴を捉える。 ・人物の様子を思い描きながら朗読する。 2 場面や状況を捉え、登場人物の行動や心情について考えを共有する。 ・大將軍(敦盛)を見つけたときの熊谷の気持ちについて話し合う。 ・敦盛を助けたいという熊谷の心情と、状況を捉え、話し合う。 ・味方の軍勢が駆けつけてくるのに気づいたときの熊谷の心情について話し合う。 ・物語の展開の仕方やその効果について考える。 → <b>読み方を学ぼう⑤</b> 物語の転換点 → <b>読書の広場「むさぼり」</b> ■二次元コード■ 3 古典に表れたものの見方や考え方を捉え、自分の考えをまとめる。 ・「冒頭(祇園精舎)」と「敦盛の最期」とを読み直す。 ・冒頭部分で提示されたものの見方・考え方を確認する。 ・「敦盛の最期」で具体的に説明できるところをあげる。 ・自分の考えを文章にまとめる。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 (学びを広げる) ・平家物語の世界を更に深く味わう。 → <b>読書の広場「那須与一」</b>	<b>知・技</b> ①作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) ②現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ)  <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。(Cイ) ②「読むこと」において、 <u>観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。</u> (Cエ) ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)  <b>主</b> ・進んで文章の構成や論理の展開などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>漢詩の世界</b> <b>【読む(漢文)】</b>  <b>漢文の読み方</b> <b>漢詩の形式</b> 3時間  ●漢詩の表現やリズムを捉え、読みを味わう。(知・技(3)ア, Cエ) ●漢詩に描かれた情景を捉え、古人の心情を想像する。(知・技(3)イ, Cオ)	1   2  3	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 漢詩の表現やリズムを捉え、読み味わう。 ・語句の意味や構成などに注意して音読する。 ・漢詩の形式について確認する。 2 作者の状況を捉え、心情を想像する。 ・「春暁」について、作者の状況を捉え、心情を想像する。 ・「黄鶴楼にて……」について、作者の状況を捉え、心情を想像する。 ・「春望」について、作者の状況を捉え、心情を想像する。 3 描かれた情景を捉え、表現の効果を考える。 ・自然を表す表現の効果について考える。 ・考えたことを文章にまとめ、交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ①作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) ②現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ)  <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。</u> (Cエ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)  <b>主</b> ・進んで文章の構成や表現の効果について考え、学習課題にそって考えたことを伝え合っている。	詩歌などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)
		<b>漢字のしくみ 1</b> <b>熟語の構成・熟字訓</b> 1時間  ●熟語の構成・熟字訓について理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 二字熟語の構成の型を理解する。 2 熟字訓について理解を深める。 →資料編「常用漢字表付表」 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ① <u>第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。</u> ((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)  <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>漢字を身につけよう⑤</b> 1時間  ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「二年生で学ぶ漢字字典」	<b>知・技</b> ① <u>第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u> ((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)  <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
11	6 情報を関係づける	<b>複数の情報を関連づけて考えをまとめる</b> <b>【情報】</b> <b>共生社会に関するデータ</b> <b>【読む(図表)】</b> <b>自立とは</b> <b>「依存先を増やすこと」</b> <b>【読む(解説)】</b>  話す・聞く…2時間 読む…3時間  ●意見と根拠のなどの関係に注意して、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、考えをまとめる。(知・技(2)ア, Aオ) ●文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。(知・技(2)イ, Cイ, Cウ, Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 資料A「共生社会に関するデータ」のグラフ3点を読み取る。 ・一つ一つのグラフからわかることを見つける。 2 グラフから読み取ったことをもとに、課題について話し合う。 ・わかったことをもとに共生社会を実現するための課題を考える。 ・いくつかのグラフを関連づけて、課題について話し合う。	<b>知・技</b> <b>①</b> 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) <b>②</b> 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)	それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする。(Aイ)
			2	1 資料B「自立とは『依存先を増やすこと』」を読む。 ・本文を通読し、内容を捉える。 2 筆者の考えを整理する。 ・筆者の考えのもととなった経験をまとめる。 ・筆者が「他者」や「社会」をどのようなものとして捉えているかを確かめる。	<b>思・判・表</b> <b>①</b> 「話すこと・聞くこと」において、 <u>互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(Aオ)</u> <b>②</b> 「読むこと」において、 <u>目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(Cイ)</u> <b>③</b> 「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。(Cウ) <b>④</b> 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)	報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。(Cア)  本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする。(Cウ)
			3-4	1 資料Aと資料Bを関連づける。 ・グラフから読み取ったことと文章から読み取ったことに共通する項目、関連する項目を見つける。 ・必要に応じて、学校図書館やインターネットを活用し、関連する多様な情報を収集する。 2 課題について、自分の考えをまとめる。 ・読み取ったことや調べたことをもとに、根拠となるデータや文章の一部を引用して、自分の考えをまとめる。	<b>主</b> ・積極的に情報と情報との関係に注意して内容を解釈し、学習の見通しをもって話し合い、考えをまとめようとしている。	
			5	1 グループで話し合っ、考えを深める。 ・それぞれの考えを交流する。 ・互いの考えの共通点や相違点に着目しながら話し合い、課題についての考えを深める。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>投稿文 情報を関連づけて 根拠を明確に示す</b> <b>【書く】</b> 4 時間 ●多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。(Bア) ●自分の意見と根拠を明確にして、説得力のある文章を書く。(知・技(2)ア, Bオ)	1-2          3-4	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 課題について自分の考えをまとめる。 ・共生社会の実現について、多様な情報にふれて考えたことを、一文で簡潔に書き表す。 2 構成を考えて投稿文を書く。 ・中心となる一文をもとに、根拠となる情報を整理して、構成を考える。 ・必要に応じて、根拠となる情報を追加で集めて引用する。 →資料編「引用と著作権」 ・四〇〇字程度の投稿文にまとめる。 3 推敲する。 ・自分の意見は明確に表されているか、根拠が意見を支えるものとなっているかを確認する。 4 交流する。 ・投稿文を読み合い、感想や意見を伝え合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、 <u>多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(Bア)</u> ②「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ) <b>主</b> ・粘り強く材料を整理して伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって投稿文を書こうとしている。	多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(Bア)
		<b>文法の窓 2 文法のまとめ 助詞・助動詞のはたらき</b> 3 時間 ●助詞・助動詞のはたらきや文の構成について理解する。(知・技(1)オ)	1-3	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「文法の窓 2」で助詞・助動詞の特徴について考える。 2 「文法のまとめ」「2 助詞・助動詞のはたらき」で、助詞・助動詞のはたらきや種類について理解する。 3 「文法のまとめ」「3 文の成分の順序と照応」で、文の成分の順序や照応について理解する。 4 「文法のまとめ」「4 文の種類」で、単文、複文、重文の特徴について理解する。 5 「確認しよう 2」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・ <u>助詞や助動詞などのはたらき、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1)オ)</u> <b>主</b> ・進んで助詞や助動詞などのはたらきや文の構成について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>漢字を身につけよう⑥</b> 1 時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「二年生で学ぶ漢字字典」	<b>知・技</b> ① <u>第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ)</u> ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
12	7 読みを深め合う	<b>大阿蘇</b> <b>【読む(詩)】</b> 2時間 ●詩の表現技法とその効果 を理解し、描かれた情景を 読み取る。(Cエ) ●眼前に展開する自然の姿 を捉え、想像豊かに朗読 する。(Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 描かれた情景を想像して音読し、眼前に展 開する自然の姿を捉える。 ・繰り返されている言葉や言いかえられてい る言葉に着目して音読する。 ・音や色、動きや広がりを感じ浮かべながら、 描かれた情景を捉える。	<b>知・技</b> ・類義語と対義語、同音異義語や 多義的な意味を表す語句など について理解し、話や文章の中 で使うことをとおして、語感を磨 き語彙を豊かにしている。(1) エ) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>文章の            構成や表現の効果について考            えている。(Cエ)</u> ②「読むこと」において、文章を読 んで理解したことや考えたことを 知識や経験と結びつけ、自分の 考えを広げたり深めたりしてい る。(Cオ) <b>主</b> ・進んで表現の効果について考 え、学習課題にそって考えを伝 え合おうとしている。	詩歌を読み、 考えたことな どを伝え合 う。(Cイ)
		2	2 詩の表現技法とその効果を理解し、想像豊 かに朗読する。 ・この詩の情景にふさわしい読み方について 考えたことを交流する。 ・交流を生かして朗読する。 ・詩の表現を比べながら、この詩について考 えたことを書く。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自 分の言葉でまとめる。			
		<b>言葉発見④</b> <b>類義語・対義語、多義語</b> 1時間 ●類義語・対義語、多義語に ついて理解する。(知・技 (1)エ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 類義語・対義語について理解する。 2 多義語について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自 分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・ <u>類義語と対義語、多義的な意味            を表す語句などについて理解            し、話や文章の中で使うことをと            おして、語感を磨き語彙を豊か            にしている。((1)エ)</u> <b>主</b> ・進んで類義語と対義語、多義的 な意味を表す語句などについて 理解し、学習したことを生かして 課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>小さな手袋</b> <b>【読む(小説)】</b>  <b>読み方を学ぼう⑥ 象徴</b> 4時間  ●登場人物の人物像と相互関係を捉える。(Cア) ●主人公の言動に着目し、その意図や心情を読み深める。(Cイ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 作品の設定と時間の流れを捉える。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・作品の設定を確認し、時間の流れを整理する。	<b>知・技</b> ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。(Cア) ②「読むこと」において、 <u>登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。</u> (Cイ) <b>主</b> ・進んで登場人物の言動の意味などについて考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)
2	2 登場人物の相互関係を捉える。 ・時間の流れにそって、できごとを整理する。 ・おばあさんとの交流について、シホの言動に着目して、場面ごとに捉える。					
3	3 登場人物の人物像を捉え、心情について考える。 ・シホとおばあさんの人物像を捉える。 ・「小さな手袋」にこめられた意味について考える。 → <b>読み方を学ぼう⑥ 象徴</b> → <b>読書の広場「ポテ・スプが大好きな猫」</b> <b>■二次元コード■</b>					
4	4 主人公の言動に着目し、その意図や心情を読み深める。 ・シホと「私」の言動の意味や心情について考える。 ・考えたことを書いて交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。					
		<b>読書活動</b> <b>ビブリオバトル</b> <b>【話す・聞く】</b> 2時間  ●本には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。(知・技(3)エ) ●自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。(Aア, Aイ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 話の構成を工夫して、紹介する内容をまとめる。 ・これまでに自分が読んだことのある本の中から、ビブリオバトルで紹介したい本を選ぶ。 → <b>読書の広場「小さな図書館」</b> ・聞いた人に本の魅力が伝わるように話の構成を工夫して、五分で紹介できるようにまとめる。	<b>知・技</b> ①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ②本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ) <b>思・判・表</b> ①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決めている。(Aア) ②「話すこと・聞くこと」において、 <u>自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。</u> (Aイ) <b>主</b> ・積極的に話の構成を工夫し、学習の見通しをもって提案しようとしている。	説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。(Aア)
2	2 ビブリオバトルを行う。 ・順番に一人五分間で本を紹介する。 ・発表ごとに、その発表に関するディスカッションを二～三分で行う。 ・「どの本がいちばん読みたくなったか」を基準とした投票を行う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。					

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>創作文</b> <b>読みたくなるしくみを工夫する</b> <b>【書く】</b> 5 時間 ●作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開など工夫して書く。(Bイ) ●作品を読み合い、表現の工夫やもとの作品の生かし方などについて意見を交流し、自分の考えを広げる。(Bオ)	1	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見直しをもつ。 1 創作のもとにする作品と創作コースを選ぶ。 ・創作のもとにする作品を決める。 ・もとの作品の特徴を考えながら、創作コースを選ぶ。	<b>知・技</b> ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)	物語を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(Bウ)
		2	2 作品の魅力や特徴について研究する。 ・もとにする作品の内容や構成・設定・表現など、読みたくなるしくみを分析する。	<b>思・判・表</b> <b>①「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ)</b>		
			3-4	3 作品の特徴や魅力が伝わるように創作する。 ・構想を練り、読者をひきつける表現の工夫を考える。 ・どの部分を作るかを決める。 ・下書きをし、読者の視点で読み返して修正・改良する。	<b>②「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ)</b>	
			5	4 作品を発表し、意見交流をとおして考えを広げる。 ・書きあげた作品をグループやクラスで読み合う。 ・もとになった作品の特徴が生かされているところ、新しく加えた発想、表現の工夫などを見つけ合って、楽しむ。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>主</b> ・粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見直しをもって感じたことや想像したことを書こうとしている。	
		<b>漢字を身につけよう⑦</b> 1 時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「二年生で学ぶ漢字字典」	<b>知・技</b> <b>①第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ)</b> <b>②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</b>	-
					<b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	



月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
1	8 視野を広げる	<b>動物園でできること</b> <b>【読む(評論)】</b> <b>読み方を学ぼう⑦ 例示</b> 4時間 ●文章の全体と部分との関係や、主張と例示との関係に注意して、筆者の主張を捉える。(Cア, Cエ) ●動物園に関する筆者の主張について、知識や経験と結びつけて自分の考えを深める。(Cオ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章全体の構成と要旨を捉える。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 ・動物園の「四つの大きな役割」についてまとめる。	<b>知・技</b> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。</u> (Cア) ②「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ) ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) <b>主</b> ・進んで主張と例示との関係などを捉え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。	解説の文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。(Cア)
		2	2 「学びの場」としての動物園の取り組みについて、本文の内容を整理する。 ・本文で示されている三つの事例について確認する。 ・三つの事例を「楽しみの場」と「学びの場」の両面から捉え、要約する。 ・要約した三つの事例が、どのような点で「学びの場」となっているかを捉える。			
			3	3 主張と例示の関係に注意して、筆者の主張を捉える。 ・表現の工夫と、その効果について考える。 ・筆者の主張を具体的な事例と結びつけて、自分の言葉で説明する。 → <b>読み方を学ぼう⑦ 例示</b> → <b>読書の広場「水田のしくみを探る」</b> <b>■二次元コード■</b>		
			4	4 筆者の主張について、自分の考えを深める。 ・筆者の主張について、自分の知識や経験と関連づけて考えたことをまとめる。 ・考えたことを交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		
		<b>漢字のしくみ 2</b> <b>熟語の読み</b> 1時間 ●熟語の読みについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 熟語の読みを音と訓の組み合わせのパターンから分類的に理解する。 2 同音異義語について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ① <u>第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。</u> ((1)ウ) ② 抽象的な概念を表す語句の量を増し、同音異義語などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>論説文 構成を工夫して 考えを伝える</b> <b>【書く】</b> 5時間 ●伝えたい事柄がわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫して書く。(Bイ) ●根拠の適切さや表現の効果を考えて説得力のある文章を書く。(Bウ)	1-2	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 課題について、自分の考えをまとめる。 ・例を参考にして、取り上げる課題を決める。 ・課題について、自分の結論や主張を一文か二文で書く。 ・理由づけを明確にして、三角ロジックの形で書き出す。 3 2 伝えたい事柄がわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫する。 ・主張に対して、予想される反論や、反論への対応などを考える。 ・基本となる文章の構成や展開を決める。 4-5 3 根拠の適切さや表現の効果を考えて説得力のある文章を書き、読み合う。 ・六〇〇～八〇〇字程度の論説文を書く。 ・読み手の立場に立って、文章を整える。 ・完成した論説文を読み合う。 ・内容や構成について、よかったところや改善点などを伝え合う。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ②情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ) <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ) ②「書くこと」において、 <u>根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</u> (Bウ) <b>主</b> ・粘り強く自分の考えが伝わるように工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。	多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(Bア)
		<b>漢字を身につけよう③</b> 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「二年生で学ぶ漢字字典」	<b>知・技</b> ① <u>第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち、350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u> ((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
2	9 振り返って見つめる	<b>走れメロス</b> <b>【読む(小説)】</b> <b>読み方を学ぼう⑧</b> <b>心内語</b> 5時間 ●人物の言動の意味を考え、人物像とその変化を捉える。(Cイ, Cオ) ●工夫された表現に着目して、文体の特徴を捉えて読み味わう。(Cエ)	1-2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 人物設定と物語の展開を捉える。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・メロスとディオニスの人物設定を捉える。 ・メロスが会った困難を箇条書きで整理する。 3 2 工夫された表現に着目して、文体の特徴を捉えて読み味わう。 ・メロスの心情の変化を捉える。 ・語り方の特徴について話し合う。 → <b>読み方を学ぼう⑧</b> 心内語 → <b>読書の広場「ポテト・スープが大好きな猫」</b> <b>■二次元コード■</b> 4 3 人物の言動の意味を考え、人物像とその変化を捉える。 ・王の言動の意味について、メロスとの出会いの場面と比べて考える。 5 4 登場人物の人物像について考えを深める。 ・メロスの性格を表す漢字二字の言葉を考える。 ・考えたことを交流する。 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> <b>①「読むこと」</b> において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(Cイ) <b>②「読むこと」</b> において、 <u>文章の構成や表現の効果について考えている。</u> (Cエ) <b>③「読むこと」</b> において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) <b>主</b> ・進んで登場人物の表現の効果について考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)
		<b>漢字を身につけよう⑨</b> 1時間 ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →資料編「二年生で学ぶ漢字字典」	<b>知・技</b> <b>①第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</b> ((1)ウ) <b>②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</b> ((1)エ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
3		<b>情報誌</b> <b>地域の魅力を振り返って</b> <b>【話す・聞く】</b> 3時間 <b>【書く】</b> 5時間 ●集めた材料を整理し、伝える内容を検討するために編集会議を開き、話し合っ て考えをまとめる。(Aア, Aオ) ●地域の特色などについて、取材や調査で集めた情報を、効果的な表現になるように工夫して文章にまとめる。(Bア, Bエ)	1-2 3-4 5-8	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見直しをもつ。 1 編集会議を開き、企画を立てる。 ・テーマ別にグループを編成する。 ・グループごとに編集会議を行って、企画書をまとめる。 2 情報収集を行い、レイアウトを決める。 ・情報収集の計画を立てる。 ・記事を書くための調査や取材、資料や図版の収集、原稿依頼などを行う。 ・収集した情報をもとに、編集会議を開き、レイアウトを決める。 3 記事を書いて誌面を作り、発表会を開く。 ・レイアウトに従って、分担して記事を書く。 ・記事が完成したら、表紙と編集後記を作成する。 ・印刷する前に、全てのページを読み合っ て推敲する。 ・印刷・製本した雑誌を用いて、クラスで発表会を開く。 →資料編「手紙・はがき・メールの書き方」 ◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2ア) ②情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2イ) <b>思・判・表</b> ①「話すこと・聞くこと」において、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア) ②「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(Aオ) ③「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。(Bア) ④「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(Bエ) <b>主</b> ・積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表現の効果などを確かめ、学習の見直しをもって情報誌を作ろうとしている。	それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする。(Aイ) 多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(Bア)
		<b>歌の言葉</b> <b>365日の紙飛行機</b>	-	-	-	-